

MGU Chapel Letter

—第17号 2022年11月1日— 発行：大学宗教センター

* 2022年度聖句 *

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐みは決して尽きない。」

哀歌 3章 22節



❖ 大学礼拝 11月のスケジュール!

【週3回、昼休みの12時10分～30分に礼拝堂で】

11月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 11月2日（水） 瀬谷 寛 （仙台東一番丁教会牧師）
- ・ 11月4日（金） 佐々木哲夫 （学院長・宗教総主事）
- ・ 11月7日（月） 金丸 真 （仙台長命ヶ丘教会牧師・中高非常勤講師）
- ・ 11月9日（水） 赤井 慧 （尚綱学院中高 聖書科主任）
- ・ 11月11日（金） 末光 眞希 （学長）
- ・ 11月14日（月） 中家 契介 （仙台黒松教会牧師）
- ・ 11月16日（水） 竹迫 之 （白河教会牧師・大学非常勤講師）
- ・ 11月18日（金） 松本 周 （一般教育部准教授）
- ・ 11月21日（月） 西間木順 （東北学院榴ヶ岡高等学校 宗教主任）
- ・ 11月25日（金） 清水 禎文 （教育学部教授）
- ・ 11月28日（月） 荒井 偉作 （名取教会牧師）
- ・ 11月30日（水） 平賀 真理子 （岩沼教会牧師）

～ 11月23日（水曜、勤労感謝の日）の礼拝はありません。

教会暦ではアドベント（待降節）が11月27日（日）から始まります ～

* 聖書・讃美歌をお持ちください。

* 金曜日は音楽科学生がオルガン奏楽の奉仕をいたします。

～ アドベントが始まります ～

点灯式のお知らせ 11月14日(月)16時30分～



今年も早くも、クリスマスを待ち望むアドベント（待降節）の季節が近づいて来ました。ベルタワールのクリスマス・イルミネーションを点灯する点灯式が、11月14日（月）16時30分に礼拝堂/ベルタワー前で予定されています。当日は大久保直樹先生がメッセージを述べて下さるほか、大学音楽科が賛美演奏を担当される予定です。

なぜクリスマスシーズンにイルミネーションを点灯するか、ご存知でしょうか。それは、クリスマスが「わたしは世の光である」（ヨハネによる福音書8章12節）と言われたイエス・キリストの誕生を祝う季節だからです。イエスを通じて、神がいかにか人間を愛し、私たちととことん共に歩んで下さることが明らかにされました。この愛を深く知る時、「光は暗闇の中で輝いている」（ヨハネによる福音書1章5節）とあるように、困難にあっても希望をもって歩み続ける力が与えられます。

新型コロナウイルス禍に加えてウクライナにおける戦争など、暗闇のように思える出来事が続いています。このような中でも、周囲を照らすクリスマスのともしびを見る時には、闇を貫く希望があることを思い出しましょう。「確かに未来はある/あなたの希望が断たれることはない。」（箴言23章18節）

▼ QA コーナー ▼

ハロウィンってキリスト教の祭りなんですか？

答え： 直接的にはNOです。

ハロウィンは、古代ケルト民族（アイルランドなどの人々）が行っていたサムハインという収穫祝いの祭りから来ています。冬の始まりを告げる、季節の境目の日でもありました。なので、キリスト教の祝祭ではないですね。

ただし、関係している部分もあります。中世の教会では、この日に続く11月1日と2日は、死者のことを覚えて祈る日（万聖節・万霊節）とされました。日本のお盆のような感じですね。「ハロウィン」という言葉も、「All Hallows' Eve 万聖節の前夜」から来ています。そのために、この夜が死者（＝幽霊）と結びつけられた面があります。

お化けの仮装をしたりお菓子をもらい歩く習慣は、19世紀にアメリカで広まった遊びです。日本ではここ20年ほどの間にポピュラーになりました。 （栗）



▼ キリスト教センター所属サークル 活動ダイアリー ▼

聖歌隊の定期演奏会が 開かれました♪

10月15日(土)・16日(日)に行われた大学祭の初日に、大学聖歌隊による第4回定期演奏会が礼拝堂で開催されました。今回は19名のメンバーが出演。「歌で紡ぐ平和への祈り」と題して、フォーレの小ミサ、メンデルスゾーンの「山に向かいて目をあげよ」、ラターの「主はあなたを恵みて守り」、仲里幸広の「HEIWAへの鐘」などを合唱しました。当日は110名以上の方が来場され、やさしい歌声に心いやされるひとときを持つことができました。



リーダーの伊藤優希さん(音楽科3年)から、下記のメッセージが届いています。

「先日は、『宮城学院女子大学聖歌隊第4回定期演奏会』に多くの方にお越しいただきました。無事に演奏会を終えることができたこと、隊員一同嬉しく思っています。限られた時間の中で、より良い演奏をしようと一人一人が努力していたと感じます。アンコール曲では笑顔で聴いて下さるお客さんも見受けられ、私達も幸せな気持ちになりました。これからは12月の賛美演奏にむけて、また成長した姿をお届けできるよう活動してまいります。応援よろしく願いいたします。」

大学YWCAのフィールドワーク！

大学YWCAでは9月19日、第1回目のフィールドワークを行いました。今回は、岩手県出身の詩人・童話作家である宮沢賢治について学びを深めるために、花巻市に行きました。

実際に足を運び、私たちが感じたことは、宮沢賢治は多才であり多くの知識を持ち、それらを自身の作品に活かしていたこと、常に周りの人を大切に愛する人であったこと、農学や音楽、宗教など文学以外にも深い教養があったことなどです。一人ひとりが宮沢賢治の人となり、考え方を深く吸収しました。

私自身、実際に資料館を訪問して、宮沢賢治は人の生き方、在り方について常に考えていた人ではないかと感じました。幅広い視点を持ち、人を愛していた彼だからこそ、

代表作である「雨ニモマケズ」を生み出すことができ、現在でも幅広い世代から愛されているのではないかと感じました。

今年は宮沢賢治記念館が 40 周年、宮沢賢治の妹であるトシの没後 100 年ということもあり、普段の資料館では拝見することのできない貴重な作品や資料の数々を見ることができました。

今回のフィールドワークに参加した一人ひとりが、様々な視点から学びを深めることができたと思います。また、今回、沢山の方々のご協力の下で実施することができましたことを感謝いたします。ありがとうございました。

大学 YWCA では今後もこのような企画を実施する予定です。ご興味のある方は大学内にも詳しい詳細を添付したポスターを掲示しておりますので、是非ご連絡ください。

(心理行動科学科 2 年 須藤蓮)



こんなふしぎなオブジェもありました

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp